

Figure Extreme Ex2 RS セットアップに関する説明書



📖 この説明書を元にセットアップをしていただく時には、まず本書を最後までお読みいただいた上でとりかかってくださいませよう願いたします。

変更履歴

2016/09/05 新規作成

2017/05/18 更新

2017/06/19 更新

2017/07/01 更新

2018/06/08 更新

株式会社 コムネット

① セットアップ前の注意

Result System(RS)のインストール前に行う注意

1) Microsoft .NET Framework 4.5 (ドットネット・フレームワーク 4.5)のインストール

お使いの OS が Windows8.0、8.1、10 以降の場合には既にインストールされているのでこの作業は不要です。Windows7 のパソコンにインストールする場合には必ずインストールして下さい。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30653>

2) Microsoft Access Runtime (アクセス・ランタイム)のインストール

従来個別のインストールが必要であったこのランタイムのインストールは、セットアッププログラムからインストールできるようになりましたので、個別のインストール作業は不要になりました。

3) 中規模のシステム更新によるご注意

本稿を更新時点での更新は比較的中規模なシステム更新のため、従来のプログラムだけの更新ではシステムをご使用いただくことができません。したがってすでに FX2 をご使用の方は次ページの内容をご確認の上、今回のセットアップをご使用ください。

② 既に過去のRSがセットアップされている場合

※ 初めてFX2のRSをインストールする場合にはこの②の項目は読み飛ばしてください

②-1 過去のデータなどを破棄してしまっても良い場合

以下のフォルダなどをすべて削除してください。

- 1) C:\¥FigureExtremeEx2 フォルダ
- 2) デスクトップ上のRSへのショートカット

②-2 過去のデータを継続して使用したい場合

念のため残しておきたい大会データを退避の機能でバックアップしてください。これはあくまで念のための処理で、何もトラブルが起きなければ過去のデータは新しいシステムに引き継がれます。

以下のフォルダなどをすべて削除してください。

- 1) C:\¥FigureExtremeEx2¥Exe フォルダ
- 2) C:\¥FigureExtremeEx2¥NewExe フォルダ
- 3) デスクトップ上のRSへのショートカット

またデータフォルダ(C:\¥FigureExtremeEx2)上の

- | | |
|---|--------------|
| 1) C:\¥FigureExtremeEx2¥FxSOV.accdb | SOV データベース |
| 2) C:\¥FigureExtremeEx2¥JsfMember.accdb | JSF 登録データベース |
| 3) C:\¥FigureExtremeEx2¥Fx2Award.xlsx | 表彰状印刷テンプレート |

は新しいセットアップにより上書きされてしまいます。

②-3 どちらの場合でも

セットアップされたRSのプログラムより新しいプログラムや各種データが発行されていることも考えられます。

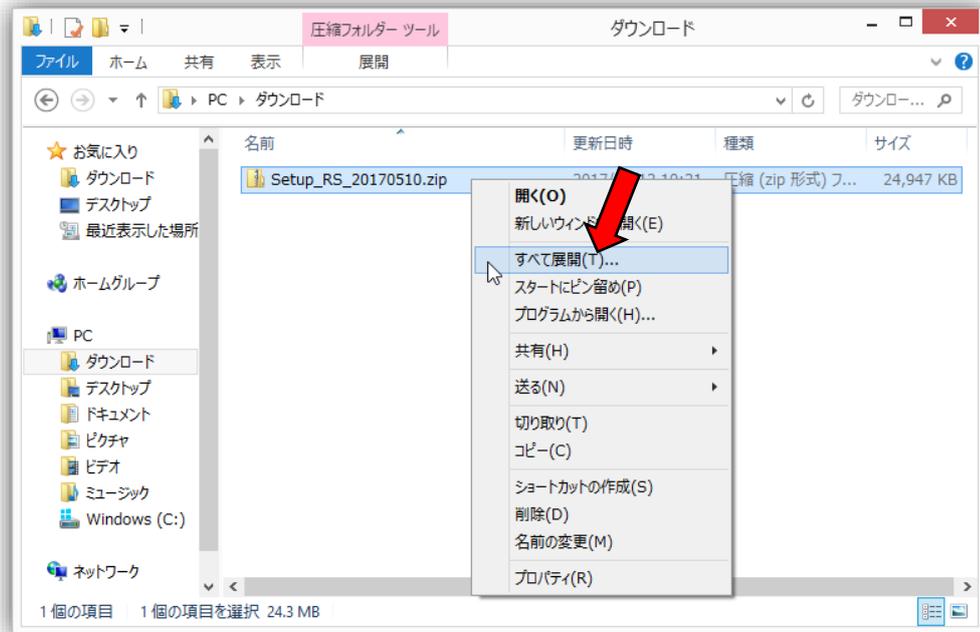
ご使用前には必ずウェブキャビネットから最新のデータをダウンロードするか、システムの更新機能を利用してシステム全体を最新の状態にしてください。

③ セットアップの手順

- 1) ウェブキャビネットから目的の RS インストーラをダウンロードします。

ウェブキャビネットの URL は <http://www.comnet-corp.co.jp/wc/wc.exe?FX2RS>

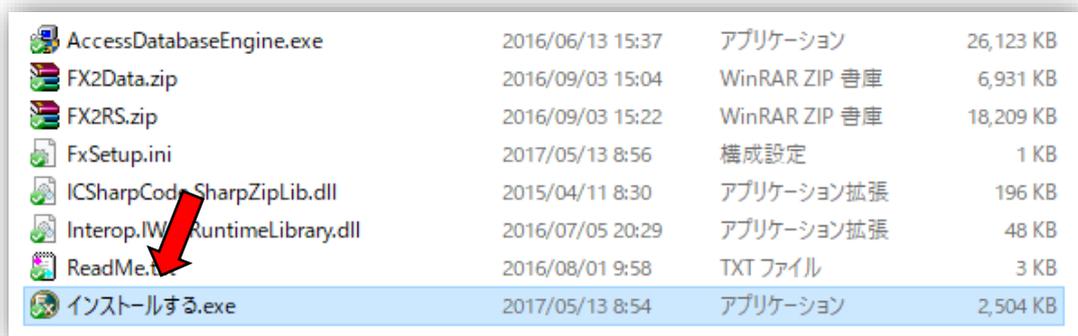
当該ファイルは下図のようにお使いの PC のダウンロードというフォルダにダウンロードされます。



- 2) ダウンロードした ZIP ファイルを適当なフォルダに解凍します。

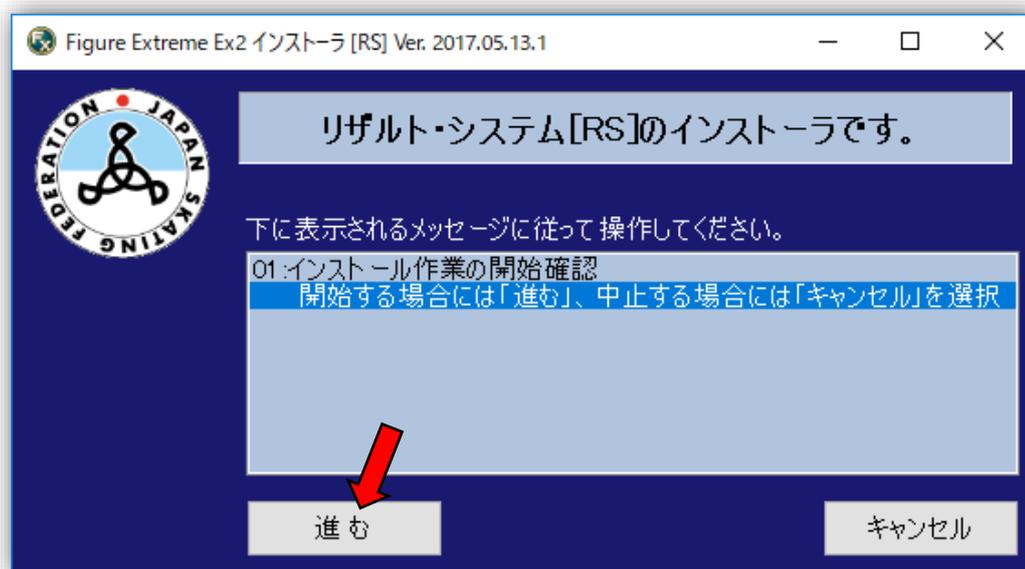
ダウンロードした目的のファイルを右クリックし表示されたメニューからすべて展開を選択して、ZIP 書庫を解凍します。

解凍したフォルダのイメージは下図のようなものです。

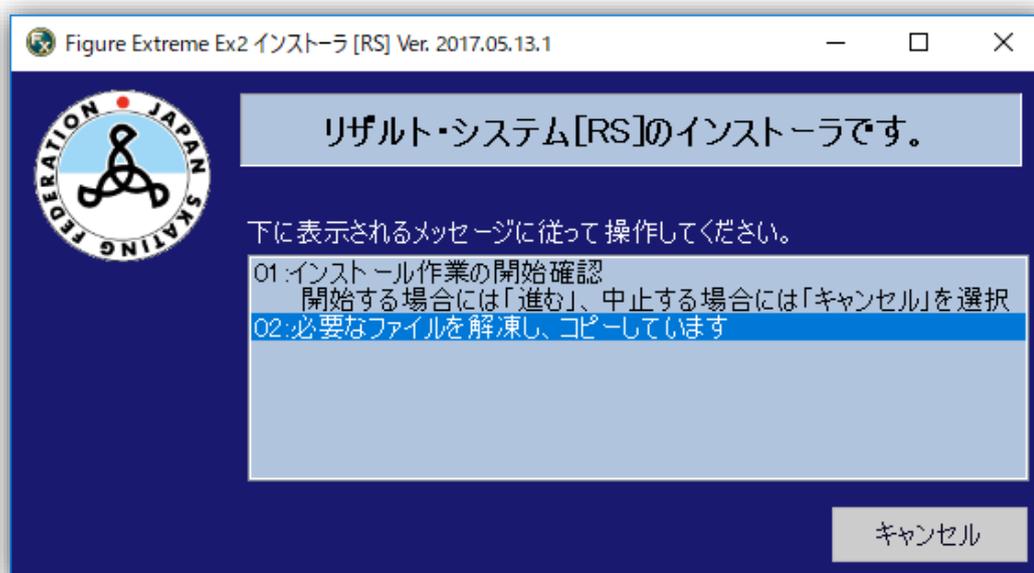


- 3) 上のフォルダ内にある『インストールする.exe』をダブルクリックしてインストーラを起動します

拡張子(.exe)が見えない場合にはエクスプローラの表示タブの中にある「ファイル名拡張子」チェックを付けてください。インストーラが起動すると下の画面が表示されます。

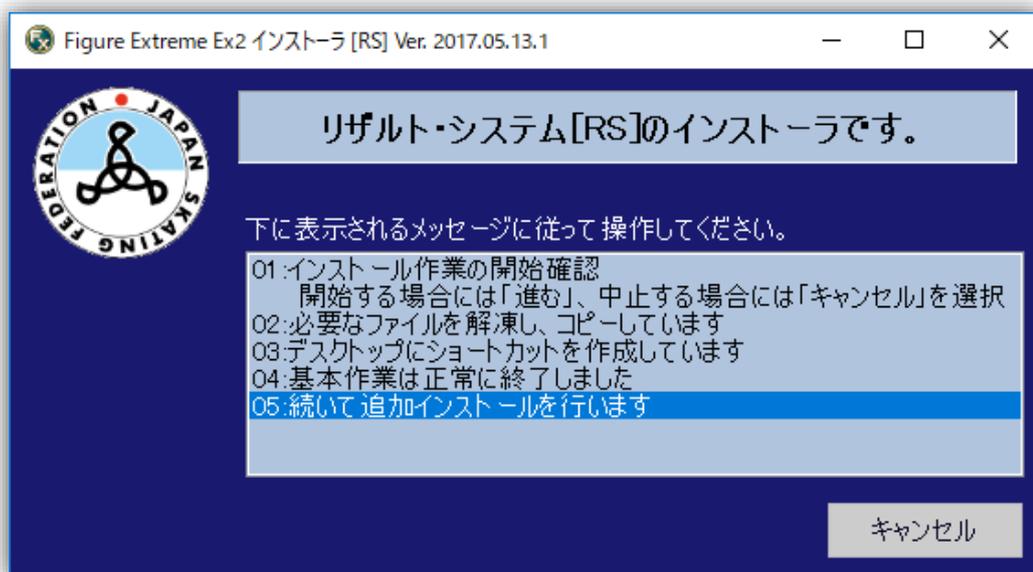


- 4) 作業を進めるためには「進む」をクリックします。中断する場合には「キャンセル」をクリックします。「進む」をクリックすると次の画面が順に表示されます。

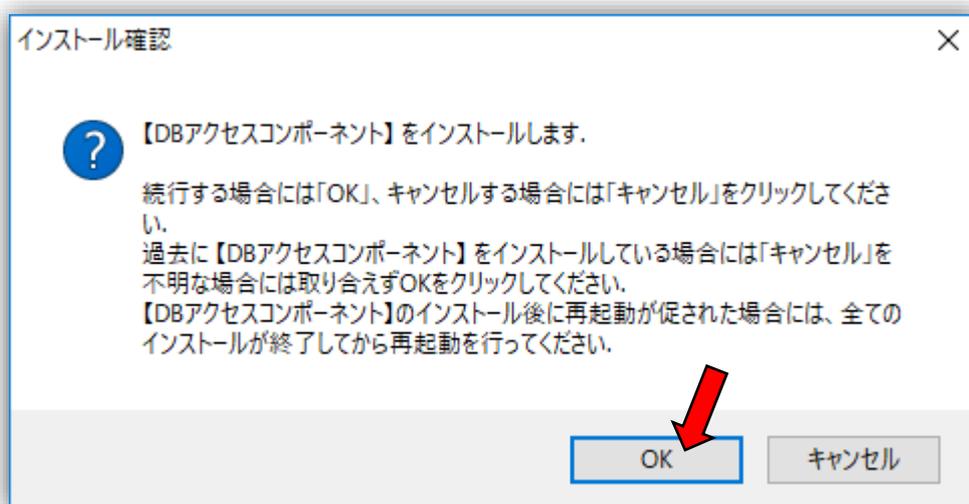


必要なファイルを解凍してコピー

- 5) 基本インストールが終了し、追加インストールに進む画面表示、同時に次の画面が表示されます。

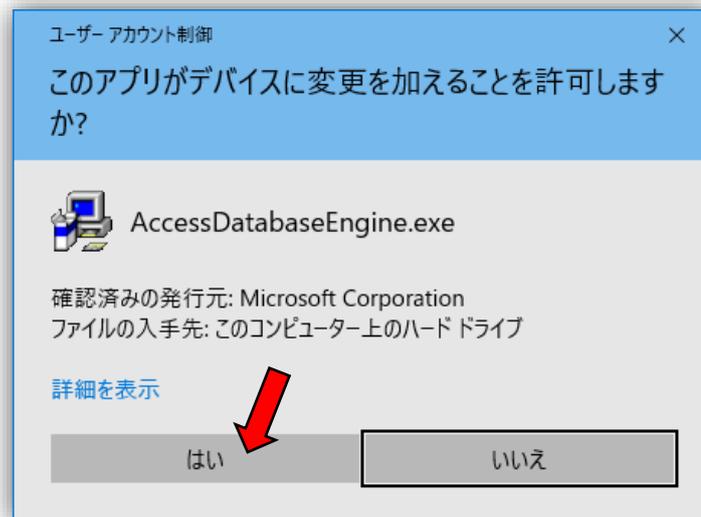


追加インストール開始確認ダイアログ(通知)表示



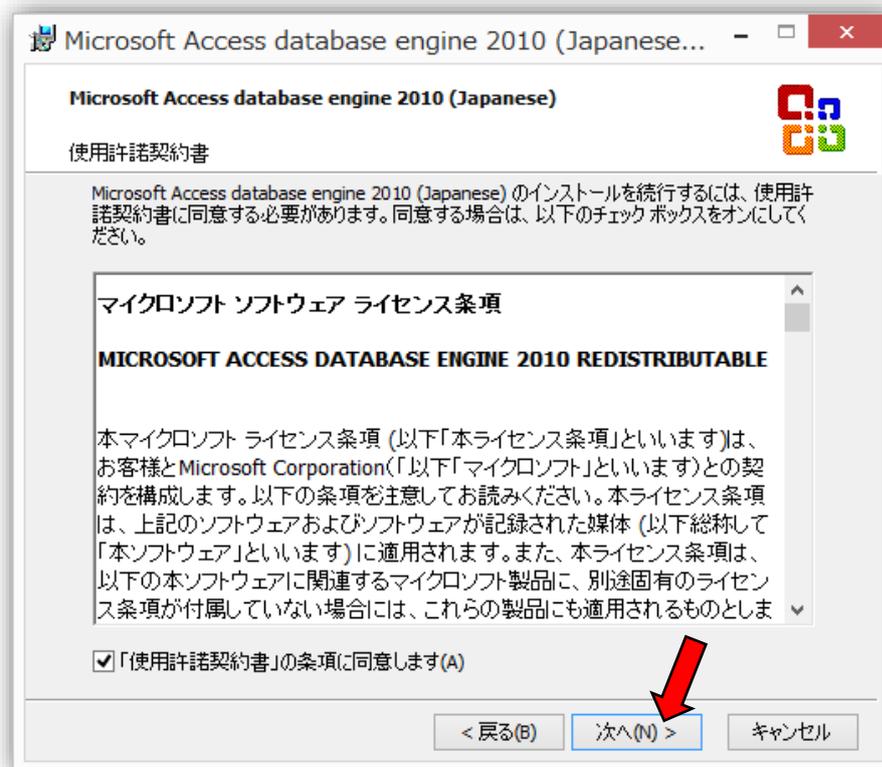
RS のインストールには DB(データベース)アクセスコンポーネントが必要なので、これのインストールを開始します。

基本的には OK で先に進みますが、過去にインストールしている場合にはキャンセルでこの処理をスキップすることができます。スキップする場合には 6)に進みます。

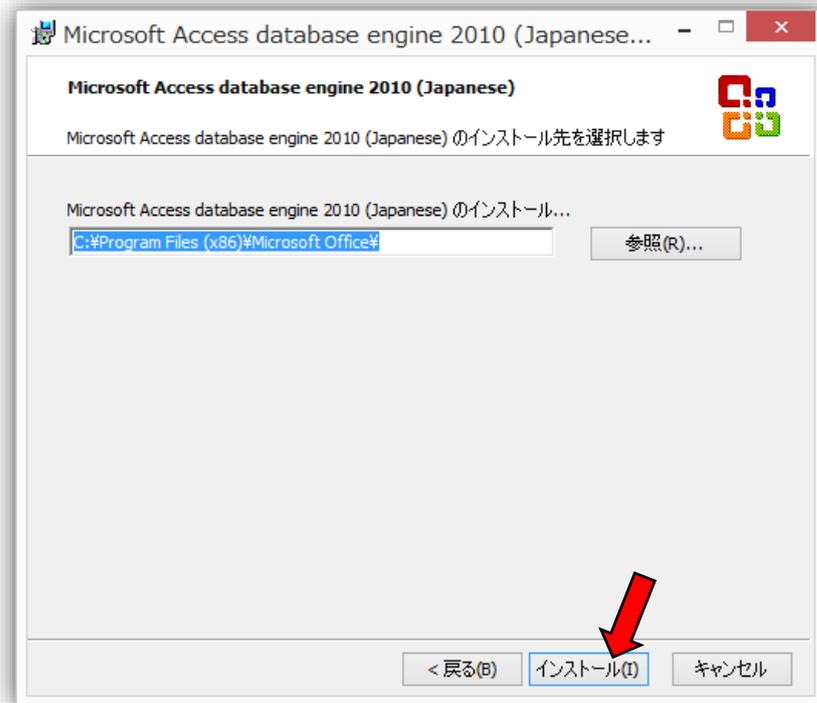


追加インストール時にデバイスへの変更許可を確認するダイアログ(通知)ウィンドウが表示されたときには、「はい」をクリックしてください。ここで「いいえ」をクリックするとこのコンポーネントはインストールされません。

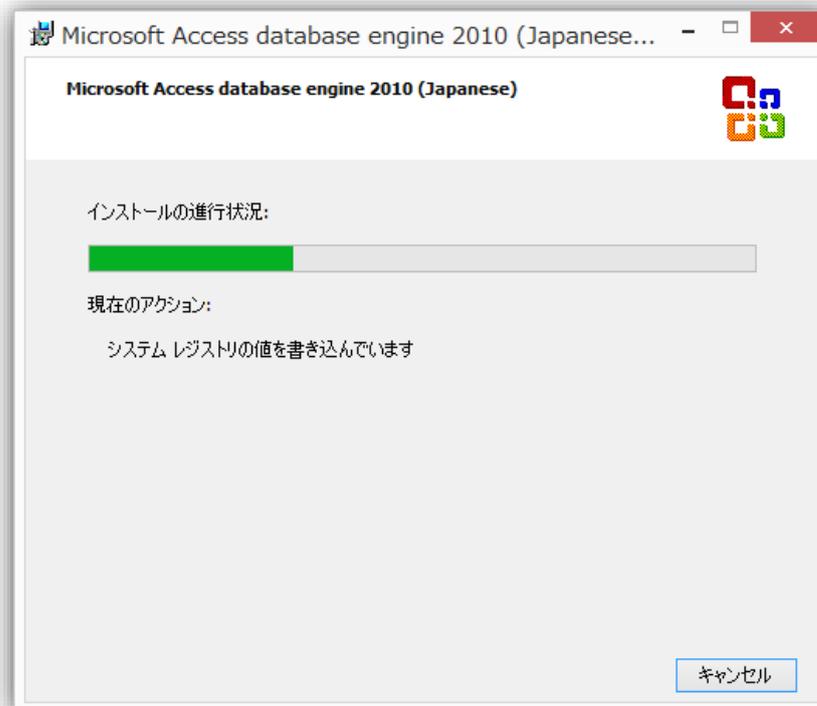
以降追加インストールで表示されるウィンドウでは、原則的にすべて肯定的な選択をしていくことになります。



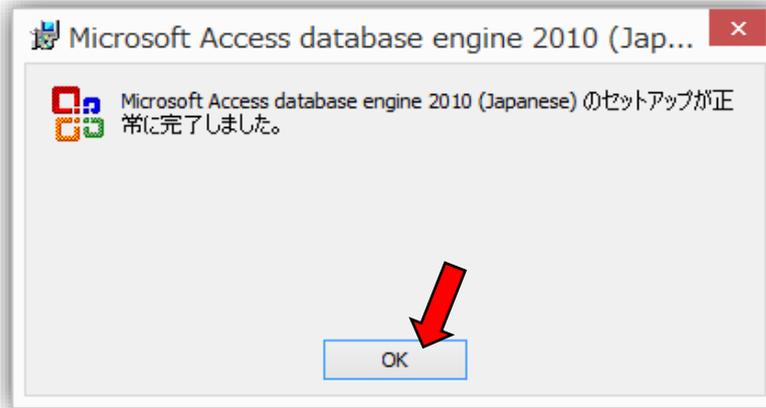
インストールを進めるために「次へ」をクリックします。



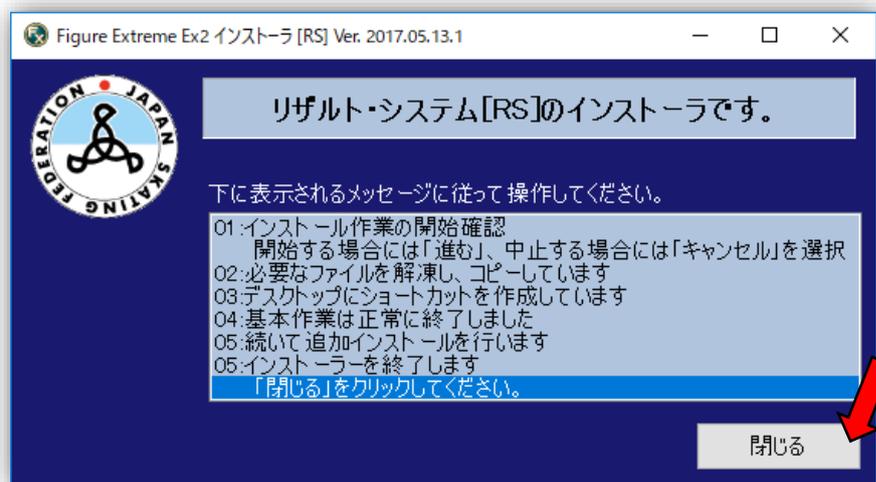
インストールフォルダもデフォルトのままなので「インストール」をクリック。



インストール進行中の画面です。



追加インストールの終了を表すダイアログです。「OK」で終了します。



「閉じる」をクリックするとインストーラを終了します

- 6) デスクトップにアプリケーションを起動するための下のようなショートカットが作成されます。アプリケーションはこのショートカットから起動できます。



- 7) セットアップ後にライセンス申請をしていただかないと、通常約1か月後にはRSは大会処理ができなくなります。ライセンス認証に関しては別の「FX2 ライセンス更新マニュアル」をお読みください。

④ アプリケーションインストール後のフォルダの概要

- 1) RSをインストール直後のフォルダは下図のようになっています。インストールフォルダは C:\¥FigureExtremeEx2 です。

名前	更新日時	種類
CompData00	2018/06/08 15:12	ファイルフォルダー
Data	2018/06/08 15:12	ファイルフォルダー
Exe	2018/06/08 14:56	ファイルフォルダー
Logs	2018/06/08 14:57	ファイルフォルダー
NewExe	2018/06/08 14:57	ファイルフォルダー
Restore	2018/06/08 14:57	ファイルフォルダー
FigureExtremeEx2.ini	2018/06/08 15:12	構成設定

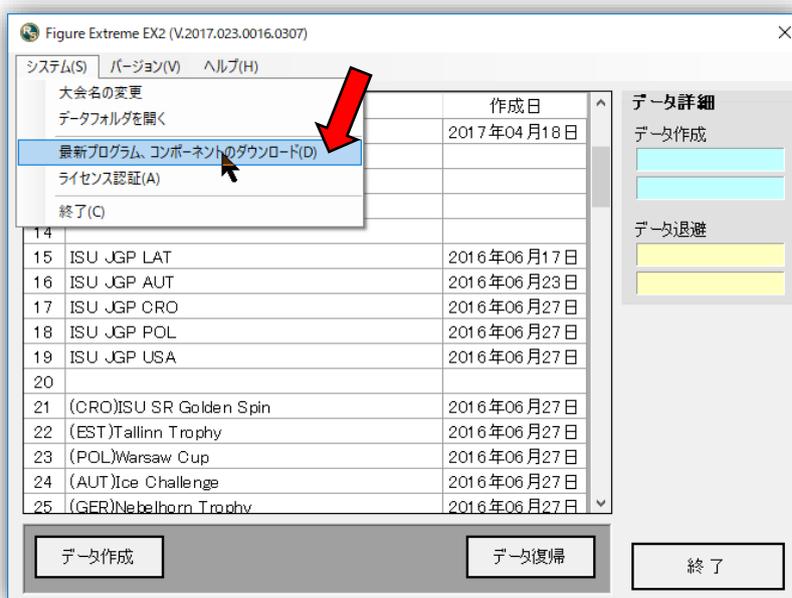
⑤ アプリケーションが起動しない場合

- 1) もう一度すべてのプログラムが最新であるかどうか、更新機能(次のページの⑥をご覧ください)を使用してご確認ください。それでも解決しない場合には 2)へお進みください。
- 2) 起動しないときにエラーメッセージなどが表示された場合には、その画面をハードコピーやスマホなどで撮影して頂いてサポートメールまで、その直前の詳細な操作や症状を含めてご連絡ください。
- 3) サポートメールでご連絡を頂戴する際には、必ず次の情報をメール本文にご記入願います。
 - a) パソコンのメーカーおよび品番
 - b) OSの種類
 - c) パソコン本体に関する特記事項
 - d) 問題発生ソフトウェアの種類(RS, JS, DO, VC, CIS, SPG など)
 - e) 問題発生時の直前の操作
 - f) 問題の詳細内容、再現性の有無
 - g) その他の情報サポートメールアドレス fx-support@skatingjapan.jp
- 4) 迅速なサポートのためにはリモートサポートをお勧めします。リモートサポートの詳細についてはサポートページの「技術情報&Q&A」をご覧ください。
サポートサイト <https://www.jsfresults.com/fx2/>

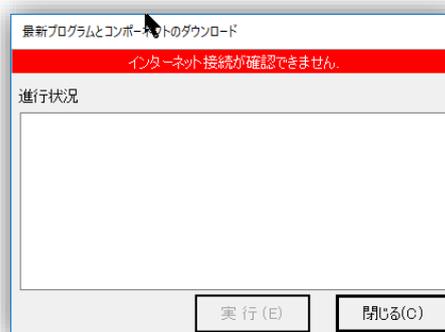
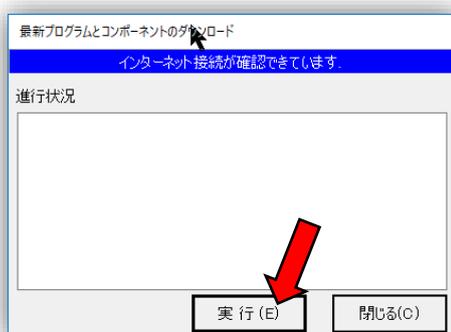
⑥ このセットアップを行った後のバージョンアップの方法

このバージョンアップを行った後は、RS のメニューからプログラムや関係ファイルを更新することが可能です。その手順を以下に説明します。

- 1) まず RS の PC がインターネットに接続され、ブラウザで検索サイトなどが閲覧可能であることを確認してください。
- 2) RS の大会選択画面のメニューのシステムから「最新プログラム、コンポーネントのダウンロード」を選択しクリックします。

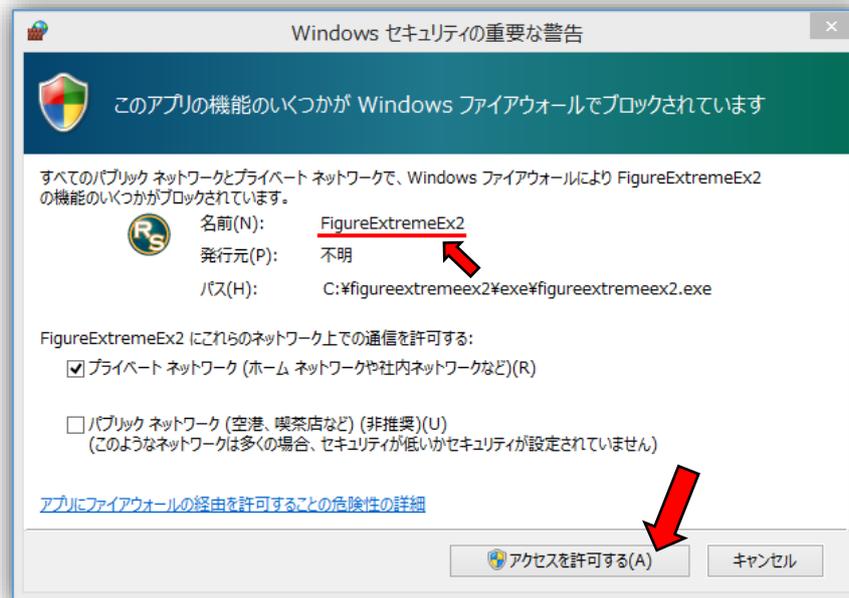


- 3) インターネットの接続が確認できれば左の画面が表示されます。インターネット接続が確認できない場合には右の画面となりますので「閉じる」をクリックした後 1)から再確認してください。またインターネット接続できない場合には、ウェブキャビネットから個別に関係ファイルを取得してください。個別ファイルの登録先は「⑦個別ファイルの配置場所」をご覧ください。

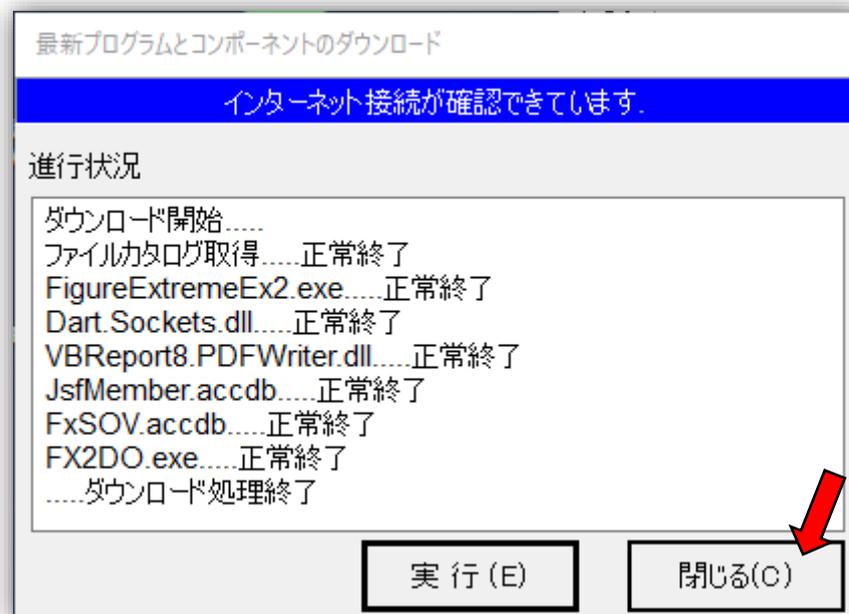


左の画面の実行をクリックし先に進みます。

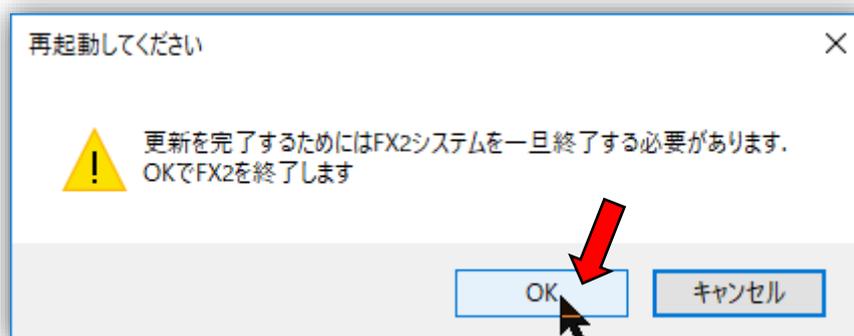
下のようなファイヤーウォールの警告ダイアログが表示された場合には、名前の部分が FigureExtremeEx2 であることを確認した後、「アクセスを許可する」をクリックしてください。



4) 続いて以下のサンプル画面のように関係ファイルのダウンロードが始まります。



- 5) 全てのダウンロードが終了すると、RS を再起動する旨が表示されます。



指示に従って OK をクリックしてから、RS を再起動してください。以上で更新は完了となります。

⑦ 個別ファイルの配置場所

RS がインターネットに接速できない場合には、他のパソコンでウェブキャビネットにアクセスして個別にファイルを取得することにより、システムを更新することができます。殆どのファイルは ZIP(圧縮書庫)ファイルになっているためダウンロード後は、解凍処理を行う必要があります。ZIP ファイルのままではご使用いただけません。解凍後それぞれのファイルを RS パソコンの所定のフォルダに配置するのですが、配置(コピー)場所を正しく行わないとシステムは更新されないことをご理解ください。それぞれのプログラムの配置場所は以下の通りです。

- 1) RS、JS、DO、VC などのメインのプログラム

C:¥FigureExtremeEx2¥NewExe

例： FigureExtremeEx2.exe
FX2JS.exe など

- 2) 1)以外のサブプログラム

C:¥FigureExtremeEx2¥Exe

例： FxSelfUpdater.exe

- 3) データベース、データファイルなど

C:¥FigureExtremeEx2¥Data

例： FxSOV.accdb
JsfMember.accdb
FxPlannedElements.mdb
Fx2Award.xlsx

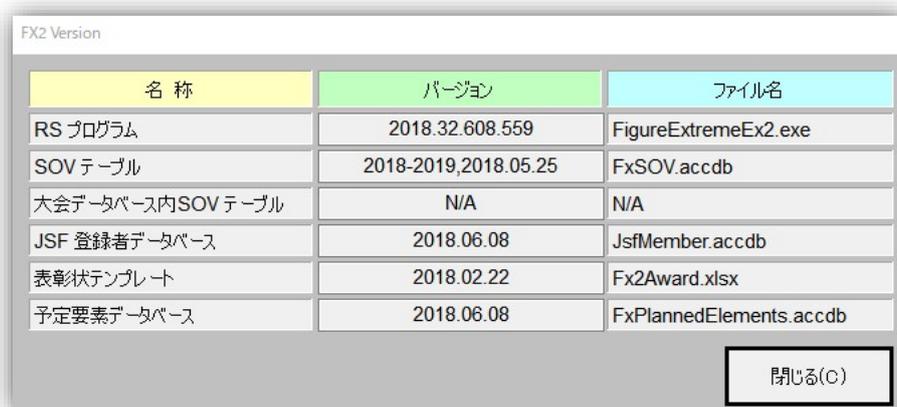
- 3) 競技会データベース

C:¥FigureExtremeEx2¥CompData00¥CompXXX

XXX は選択された大会番号(001-099)

⑧ バージョン確認方法

⑥の RS の大会選択画面のメニューには「バージョン」というメニューがあり、これをクリックすると下の画面 RS のプログラムと関係するコンポーネントのバージョンを知ることができます。



名称	バージョン	ファイル名
RS プログラム	2018.32.608.559	FigureExtremeEx2.exe
SOV テーブル	2018-2019,2018.05.25	FxSOV.accdb
大会データベース内SOVテーブル	N/A	N/A
JSF 登録者データベース	2018.06.08	JsfMember.accdb
表彰状テンプレート	2018.02.22	Fx2Award.xlsx
予定要素データベース	2018.06.08	FxPlannedElements.accdb

閉じる(C)

上記に表示されたバージョンと、サポートサイトやウェブキャビネットの情報とを比較して、最新の情報であることを確認してから運用を開始してください。

⑨ オンライン RS で使用する場合のポート設定

C:\¥FigureExtremeEx2¥FigureExtremeEx2.ini ファイルをメモ帳などのテキストエディタで開きます。[Settings]セクションの ServerPort というキーを見つけられると思いますので、ServerPort=20001 のように 20001 を設定してファイルを上書き保存してください。この 20001 という値は JS/DO/VC から RS に対するソケットポートを意味しています。何か特別な理由があり 20001 を使用できない場合がない限り、この値の変更は行わないようにしてください。